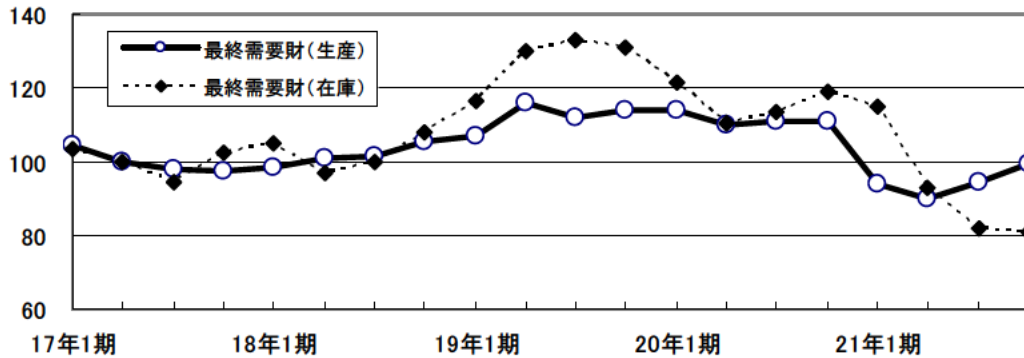


### 3 特殊分類別（財別）鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

#### 1 最終需要財

平成 21 年の県内最終需要財の生産指数は 94.6 で、対前年比 15.2%低下しました。（表 4）  
四半期別にみると、1 期 94.1（対前期比 15.1%減）、2 期 89.9（同 4.5%減）、3 期 94.6（同 5.2%増）、4 期 99.7（同 5.4%増）となりました。（表 8）  
また、在庫指数の年平均は 93.0 で、対前年比 20.0%低下しました。（表 6）  
四半期別にみると、1 期 114.8（対前期比 3.7%減）、2 期 92.9（同 19.1%減）、3 期 82.0（同 11.7%減）、4 期 81.1（同 1.1%減）となりました。（表 10）

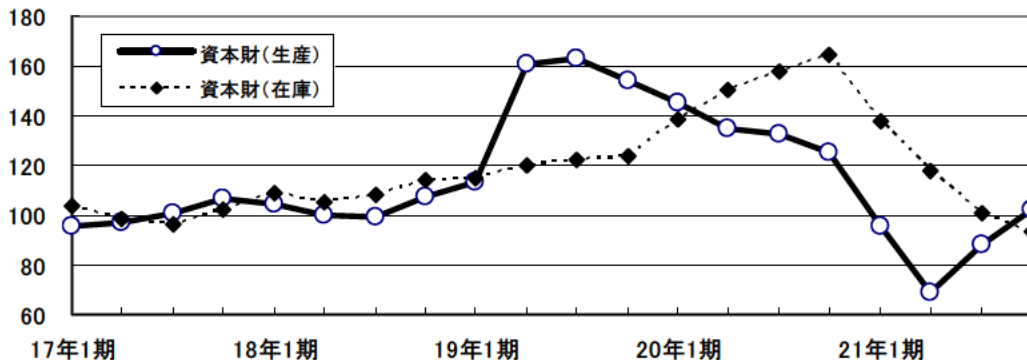


#### 1-1 投資財

平成 21 年の県内投資財の生産指数は 81.3 で、対前年比 30.1%低下しました。（表 4）  
また、在庫指数の年平均は 102.2 で、対前年比 25.3%低下しました。（表 6）

#### 1-1-1 資本財

平成 21 年の県内資本財の生産指数は 88.5 で、対前年比 34.3%低下しました。（表 4）  
四半期別にみると、1 期 95.8（対前期比 23.4%減）、2 期 68.6（同 28.4%減）、3 期 88.0（同 28.3%増）、4 期 102.2（同 16.1%増）となりました。（表 8）  
また、在庫指数の年平均は 113.7 で、対前年比 25.1%低下しました。（表 6）  
四半期別にみると、1 期 138.1（対前期比 16.2%減）、2 期 117.8（同 14.7%減）、3 期 100.5（同 14.7%減）、4 期 93.1（同 7.4%減）となりました。（表 10）



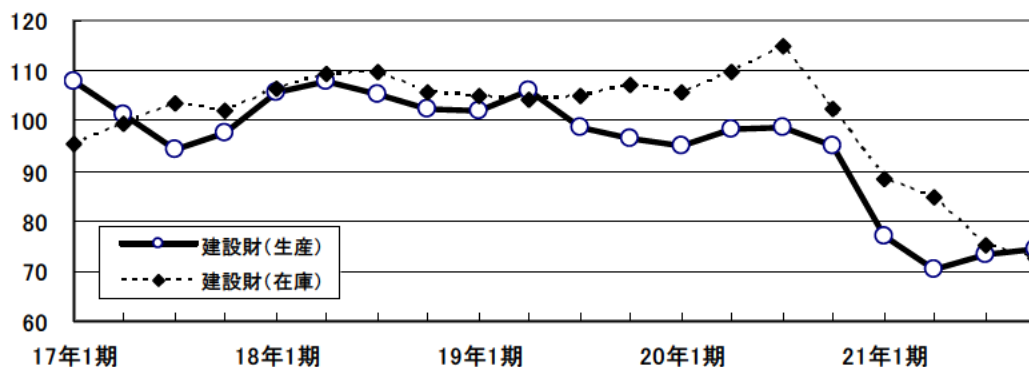
## 1-1-2 建設財

平成 21 年の県内建設財の生産指数は 73.6 で、対前年比 24.0%低下しました。（表 4）

四半期別にみると、1 期 77.1（対前期比 18.9%減）、2 期 70.2（同 8.9%減）、3 期 73.1（同 4.1%増）、4 期 74.2（同 1.5%増）となりました。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 80.1 で、対前年比 25.8%低下しました。（表 6）

四半期別にみると、1 期 88.4（対前期比 13.5%減）、2 期 84.8（同 4.1%減）、3 期 75.0（同 11.6%減）、4 期 72.5（同 3.3 減）となりました。（表 10）



## 1-2 消費財

平成 21 年の県内消費財の生産指数は 102.8 で、対前年比 5.3%低下しました。（表 4）

また、在庫指数の年平均は 83.2 で、対前年比 11.6%低下しました。（表 6）

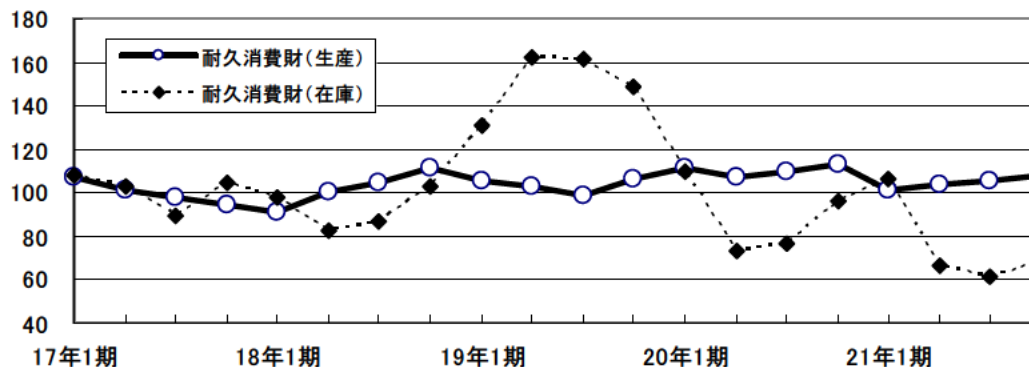
### 1-2-1 耐久消費財

平成 21 年の県内耐久消費財の生産指数は 104.7 で、対前年比 5.2%低下しました。（表 4）

四半期別にみると、1 期 101.4（対前期比 10.5%減）、2 期 103.5（同 2.1%増）、3 期 105.7（同 2.1%増）、4 期 107.8（同 2.0%増）となりました。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 76.1 で、対前年比 15.4%低下しました。（表 6）

四半期別にみると、1 期 105.9（対前期比 10.3%増）、2 期 66.5（同 37.2%減）、3 期 61.3（同 7.8%減）、4 期 68.4（同 11.6%増）となりました。（表 10）

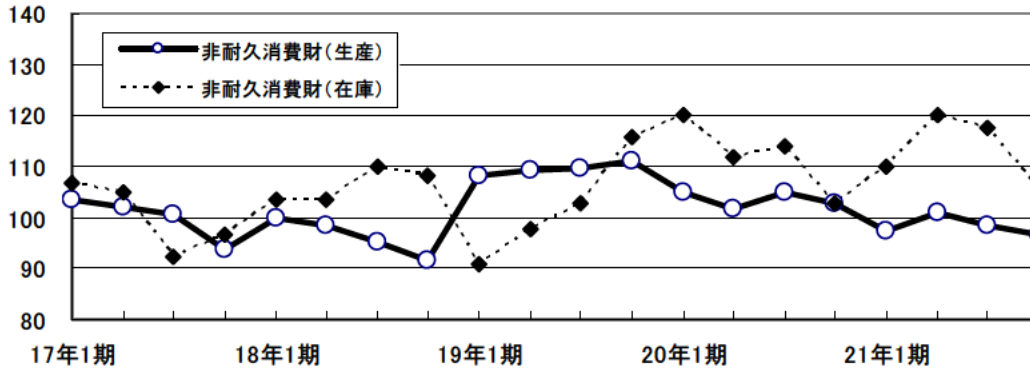


### 1-2-2 非耐久消費財

平成 21 年の県内非耐久消費財の生産指数は 98.3 で、対前年比 5.1%低下しました。（表 4）  
四半期別にみると、1 期 97.2（対前期比 5.5%減）、2 期 101.0（同 3.9%増）、3 期 98.5（同 2.5%減）、4 期 96.6（同 1.9%減）となりました。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 113.1 で、対前年比 0.9%上昇しました。（表 6）

四半期別にみると、1 期 110.0（対前期比 7.0%増）、2 期 120.3（同 9.4%増）、3 期 117.7（同 2.2%減）、4 期 105.3（同 10.5%減）となりました。（表 10）



## 2 生産財

平成 21 年の県内生産財の生産指数は 85.4 で、対前年比 23.3%低下しました。（表 4）

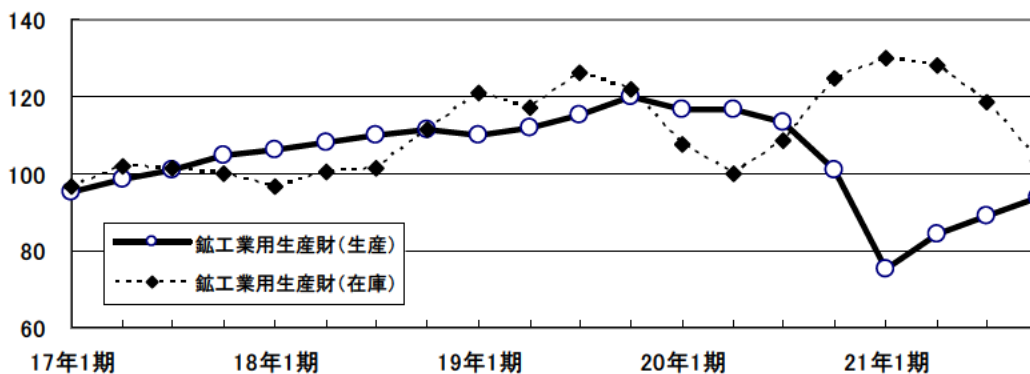
また、在庫指数の年平均は 120.6 で、対前年比 9.5%上昇しました。（表 6）

### 2-1 鉱工業用生産財

平成 21 年の県内鉱工業用生産財の生産指数は 85.8 で、対前年比 23.3%低下しました。（表 4）  
四半期別にみると、1 期 75.1（対前期比 25.5%減）、2 期 84.1（同 12.0%増）、3 期 88.9（同 5.7%増）、4 期 94.0（同 5.7%増）となりました。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 120.0 で、対前年比 8.8%上昇しました。（表 6）

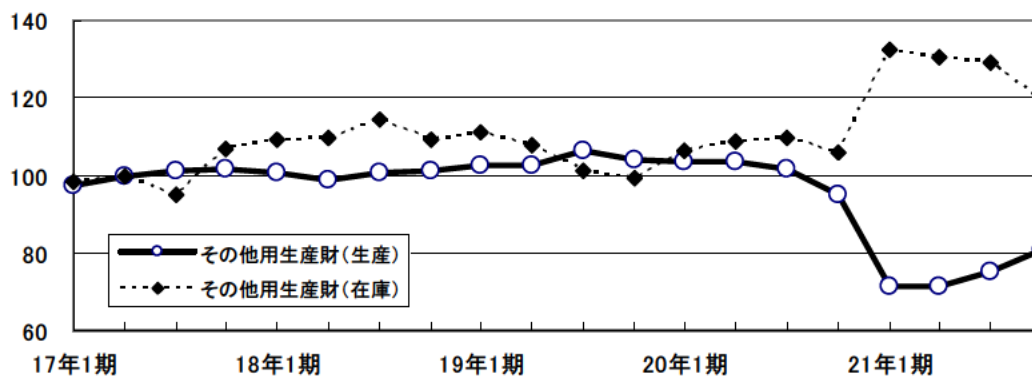
四半期別にみると、1 期 130.1（対前期比 4.1%増）、2 期 128.3（同 1.4%減）、3 期 118.5（同 7.6%減）、4 期 103.1（同 13.0%減）となりました。（表 10）



## 2-2 その他用生産財

平成 21 年の県内その他用生産財の生産指数は 74.8 で、対前年比 25.9%低下しました。（表 4）  
四半期別にみると、1 期 71.5（対前期比 24.7%減）、2 期 71.5（同±0.0%）、3 期 75.1（同 5.0%増）、4 期 80.6（同 7.3%増）となりました。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 128.1 で、対前年比 18.8%上昇しました。（表 6）  
四半期別にみると、1 期 132.3（対前期比 24.8%増）、2 期 130.7（同 1.2%減）、3 期 129.3（同 1.1%減）、4 期 119.3（同 7.7%減）となりました。（表 10）



### 「季節調整」 とは？

指数には「原指数」と「季節調整済指数」の2種類がある事にお気づきでしょうか？

例年、年末年始のある12月、1月、ゴールデンウィークのある4、5月、お盆休みのある8月は勤務日数が少ない為、生産活動が低下するといわれていますが、本当にそれを生産水準の低下と考えて良いのでしょうか？

鉱工業の生産は、季節的な要因や社会的慣習等により1年を周期として変動するので、前月や前四半期との比較を行なう場合には、そのような季節要因をとり除く必要があります。これを「季節調整」といいます。